

環境の清潔と 精神の高潔が日本の財産

東京大学名誉教授
つきおよしお
月尾嘉男

世界で評価される清潔製品

一九八〇年代にTOTOが発明した温水洗浄便座は日本機械学会による「機械遺産」に登録、発明協会の「戦後日本のイノベーション100選」にも選定され、アンケート調査では、インスタントラーメン、マンガ・アニメーション、ウォークマン、青色発光ダイオードなどととともに、ベスト10に位置している。これは技術として優秀であるだけではなく、日本では二〇一四年三月で世帯

の約七六%に普及する人気商品にもなっている。

その温水洗浄便座を設置した効果もあり、世界の主要空港を毎年評価しているイギリスの民間調査機関の選定する「清潔な便所」の順位では、一位が関西国際空港、二位が成田国際空港である。その貢献にもより、二〇一四年三月の「清潔な空港」の評価では、世界全体の一位が羽田国際空港、四位が成田国際空港、七位が関西国際空港、八位が中部国際空港と、日本の主要な国際空港すべて



がベスト10に登場している。

残念ながら、外国では日本ほど普及していないが、ドイツの民間機関が選定している由緒ある世界三大デザイン大賞で、二〇一三年春、TOTO

TOTOが輸出商品として発売した温水洗浄便座が表彰されるなど、海外での評価も次第に向上している。さらに日本で数十の大型温泉施設を運営している会社が中国の上海に同様の施設を開業したところ、水質や空気が清浄であるという理由で人気施設となり、中国の数多くの都市から誘致されている。

日本文化に通底する清潔精神

説明するまでもなく、共通する特徴は「清潔」であり、海外から来訪する人々に日本は清潔国家と評価されているが、背景には日本の風土に由来する文化が存在している。日本には「水に流す」という表現があるが、これは心情として過去の経緯を抹消するだけではなく、実際に汚水もゴミも糞尿も河川で処理していたせいである。日本の河川が急流で流量も豊富であるとともに、高温多湿の環境では最適の処理方法であったからである。

神道に由来する「禊」も精神の汚穢を消去するだけではなく、実際に

河川などで肉体を清潔にすることであるが、これも高温多湿の環境がもたらした文化である。西欧では対面の挨拶は握手や抱擁が一般であるが、日本の伝統はお辞儀であり、肉体的接触はしない。高温多湿の環境で、裸をしない身体で接触することを遠慮していたのである。当然、神聖な神々へ参拝するときは、不浄な肉体や精神を清浄にする禊をして出向いていた。

日本では謝罪するときに「すみません」という言葉を使用する。現在では「済みません」と記述することが普通であるが、「澄みません」が本来という学説がある。井戸や河川や湖沼などを汚濁させ清浄ではなくしたことを謝罪することが語源ということである。この清潔な環境への特異な関心は安全な社会とともに世界の人々が日本を評価する二大要因であるが、さらに重要な特徴は高潔な精神である。

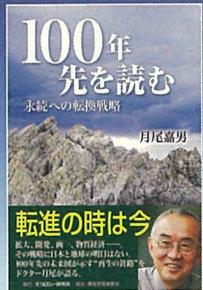
高潔な精神の奪回

この日本に内在する高潔な精神に

ついては、江戸末期から明治初期に西欧から日本を訪問した人々の記録に多数の逸話がある。宿泊した旅館や下宿している部屋に金銭や時計を放置しておいても、まったく安全であったという逸話は数多くあるし、外人医師が日本の患者を治療した帰路に人力車を利用したところ、車夫が自分の友達を治療してくれた感謝の気持を表現しようと、車代の受領を辞めたという事例も記録されている。

この安全と高潔は日本文化の特徴として現在まで継承されており、一例として、人口あたり犯罪被害者数はOECD（経済協力開発機構）諸国では最低であり、イギリスやアメリカの半分程度である。しかし残念なことに、最近国会議員や地方議会議員の問題行動、振込め詐欺の頻発、違法薬物濫用など高潔ではない事例が続出している。

その原因は多種多様であるにしても、清潔な環境と高潔な精神を維持していくことは、日本再生の重要な課題である。



絶賛発売中!!
ご注文は添付のハガキで